

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考	
	対象	実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県		
■水害リスク情報を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現										
1 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	洪水予報河川 水位周知河川	(参考) 前期	洪水予報河川および水位周知河川の想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・公表	令和3年度まで	-	-	-	-	前期実施	
	上記以外の県管理河川	新規	R6年度出水期までに全ての県管理河川に関する想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表	令和4年度～令和8年度	-	-	-	-	-	・R6年度までに想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表。(島根県河川課)
				RO6取組状況	-	-	-	-	-	想定最大規模降雨に係る斐伊川水系及び二級水系洪水浸水想定区域図を指定・公表した。
				RO7取組予定	-	-	-	-	-	・想定最大規模降雨に係る浸水想定区域図の周知をする。
2 水害・土砂災害ハザードマップの改良・周知	対象流域	(参考) 前期	各市町村において、ハザードマップの改良・周知を行う	令和3年度まで	前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
	圏域	継続	現行のハザードマップの内容について、出前講座等で周知を図るとともに、新たに作成する浸水想定区域図等の更新および住民周知	令和4年度～令和8年度	・最新のハザードマップを出前講座で周知を図る。	・現行のハザードマップの内容について、出前講座等で周知を図るとともに、新たに作成される浸水想定区域図等を反映したハザードマップの更新および住民周知を行う。	-	-	-	・新たに作成する洪水浸水想定区域図及び土砂災害警戒区域図を関係市町村へ提供する。 ・最新のハザードマップを出前講座で周知を図る。
				RO6取組状況	・現行のハザードマップを出前講座で周知を行ったほか、ハザードマップを用いた避難行動の取り方について周知を図った。	・出前講座などを活用しハザードマップの周知を行うほか、防災情報の取得方法やマップの見方について周知した。	-	-	-	・出前講座等でハザードマップを周知した。
RO7取組予定	・現行のハザードマップを出前講座で周知を行うほか、ハザードマップを用いた避難行動の取り方について周知を図る。	・新たに公表される(された)洪水浸水想定区域を反映したハザードマップの作成し、出前講座などでマップの見方、防災情報の取得方法などについて住民周知を行う。	-	-	-	-	・新たに作成する洪水浸水想定区域図を市町村へ提供する。 ・最新のハザードマップを出前講座で周知する。			

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)			目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象		実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
3 避難情報の発令に着目した水害・土砂災害対応タイムラインの策定	洪水予報河川 水位周知河川	(参考) 前期	水害対応(避難着目型)タイムラインを作成し、対象河川について運用訓練の実施や実洪水等により適宜見直し	令和3年度まで	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	
	圏域	継続	作成したタイムラインについて、訓練や実洪水等により適宜見直し土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	令和4年度～ 令和8年度	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直し	・水害対応タイムラインについて、実洪水・情報伝達訓練を通じて適時見直し ・土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	・水害対応タイムライン見直し時において、相談があれば技術的助言を行う。	・タイムライン作成・見直しの際、防災気象情報を有効に活用する観点から適切な助言を行う。	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直し。 ・土砂災害に関するタイムラインの作成・運用。	
				R06取組状況	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直しを図った。	・関係機関で水害対応タイムラインを共有し、実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直しを図った。	-	・タイムライン見直しの際、防災気象情報を有効に活用する観点から適切な助言を行った。	・洪水対応演習(R6.5.10)により水害に関するタイムラインを確認した。 ・水害・土砂災害に関するタイムラインの検討を行った。 ・飯梨川(大渡・矢田)のタイムラインの見直しをした。	
				R07取組予定	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直しを図る。	・引き続き、関係機関で水害対応タイムラインを共有し、実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直しを図る。	-	引き続き、タイムライン運用に協力し、担当者会議及び減災対策協議会の枠組みで、振り返りのうえ運用改善について助言する。	・水害・土砂災害に関するタイムラインの検討を行う。	
4 洪水時・土砂災害における河川管理者(気象台)からの情報提供(ホットラインの定着を含む)	洪水予報河川 水位周知河川	(参考) 前期	出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る	令和3年度まで	前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
	圏域	継続	出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る【課題】実施状況を記録として残し、タイムラインの見直しに活用	令和4年度～ 令和8年度	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る。	・出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る。	-	・出水期前に、洪水・土砂災害に係る防災気象情報の発表・伝達訓練等を行い、連携強化による円滑な作業実施と連絡体制等の定着・充実を図る。	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る。	
				R06取組状況	・ホットラインを含めた県管理河川における情報伝達演習(5月10日実施)	・出水期前にホットライン等の情報伝達訓練を実施した(5/10洪水対応演習など)。	-	・県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で「洪水予報演習(部外配信を含む)」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施した。	・洪水対応演習(5/10)を通じて連絡体制の定着を図った。 ・洪水対応演習(5/10)においてホットライン訓練を実施した。 ・土砂災害警戒情報伝達訓練(6/6)を通じて、連絡体制の定着を図った。	
				R07取組予定	・ホットラインを含めた県管理河川における洪水対応演習	・出水期前にホットライン等の情報伝達訓練を実施する(4/21洪水対応演習など)。	-	・引き続き、県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で「洪水予報演習(部外配信を含む)」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施する。	・洪水対応演習(ホットライン訓練を含む)令和7年4月21日に実施した。 ・土砂災害警戒情報伝達訓練を令和6年6月5日に実施する。	

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)			目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象		実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
	圏域	(参考)前期	防災気象情報の改善 水防情報システムの開発・運用		-	-	-	前期実施	前期実施	
5 避難情報の発令判断を 的確に行うための水防 情報・土砂災害危険度 情報等提供の充実	圏域	(参考)前期	防災気象情報の改善 水防情報システムの開発・運用	令和3年度まで	-	-	-	前期実施	前期実施	
	圏域	継続	防災気象情報の改善 水防情報システムの更新・運用 土砂災害危険度情報の運用・周知	令和4年度～ 令和8年度	-	-	-	・大雨警報(浸水害・土砂災害)・注意報、洪水警報・注意報について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。土砂災害警戒情報についても島根県と連携して評価・検証を行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。	・水防情報システムの運用・周知 ・土砂災害危険度情報の運用・周知	
	圏域	継続	防災気象情報の改善 水防情報システムの更新・運用 土砂災害危険度情報の運用・周知	RO6取組状況	-	-	-	・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。 ・府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始。(令和6年5月28日～) ・府県/地方気象情報の文書構造(文書の構成順、項目の名称や書式、量的予想に係る表現等を全国で統一)の変更。(令和6年6月13日～)	・水防情報システムの更新・周知を行った。 ・水位計等の保守を行った。 ・土砂災害危険度情報の運用・周知を行った。	
	圏域	継続	防災気象情報の改善 水防情報システムの更新・運用 土砂災害危険度情報の運用・周知	RO7取組予定	-	-	-	・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。	・水防情報システムの運用・周知を行う。 ・水位計等の保守を行う。 ・土砂災害危険度情報の運用・周知を行う。	
6 水害リスクの高い箇所を 監視する水位計等の整備	モデル河川	(参考)前期	モデル河川において、危機管理型水位計を整備	令和3年度まで	前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
	県管理河川	継続	浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	令和4年度～ 令和8年度	・県管理河川での防災上、設置が必要な箇所を検討し、県に対して順次、新たにカメラ等の整備を要望する。	・防災重点箇所への水位計の設置を検討し、要望する。	-	-	・市の要望を踏まえ住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	
	県管理河川	継続	浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	RO6取組状況	・県管理河川での防災上、設置が必要な箇所を検討し、県に対して順次、新たにカメラ等の整備を要望した。	・浸水被害の発生頻度の高い地点に、新たに河川監視カメラを設置し、インターネット上でライブ配信した。 ○洞貫川 1箇所	-	-	意宇川(出雲郷)カメラに量水板を設置した。	
	県管理河川	継続	浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	RO7取組予定	・県管理河川での防災上、設置が必要な箇所を検討し、県に対して順次、新たにカメラ等の整備を要望する。	・浸水被害の発生頻度の高い地点に、新たに河川監視カメラを設置し、インターネット上でライブ配信する。 ○対象河川検討中 1箇所	-	-	・カメラ等の整備を検討する。(島根県河川課)	

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)			目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象		実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
	圏域	(参考)前期	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る		令和3年度まで	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	
7 住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練	圏域	(参考)前期	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る	令和3年度まで	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	
	圏域	継続	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る 出前講座等を活用し、マイタイムライン等の普及を図る【追加】	令和4年度～令和8年度	・出前講座により防災情報の入手、活用方法等を周知 ・広報紙を活用した防災情報発信・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る。	・出前講座や広報誌等を活用し、防災知識の普及や防災情報の入手方法の周知を図る。 ・マイタイムラインのひな形を作成し、出前講座や広報誌等を通じて、普及を図る。	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組む。	・出前講座等により防災気象情報の入手・活用方法等を周知し、防災知識の普及・啓発を図る。	・出前講座により防災情報の入手、活用方法等を周知 ・広報紙を活用した防災情報発信 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る	
	圏域	継続	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る 出前講座等を活用し、マイタイムライン等の普及を図る【追加】	R06取組状況	・出前講座により防災情報の入手、活用方法等の周知を図った。 ・広報紙を活用した防災情報発信・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図った。	・出前講座や広報誌等を活用し、防災知識の普及や防災情報の入手方法等について周知を図った。 ・マイタイムラインの普及啓発のために地区の集会や学校の防災学習にて講座を開催した。	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組んだ。	・依頼があれば随時、出前講座等を実施し防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及・啓発を行った。	・出前講座により防災情報の入手・活用方法等を周知した。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課) ・広報紙を活用した防災情報発信を行った。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課) ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図った。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課)	
圏域	継続	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る 出前講座等を活用し、マイタイムライン等の普及を図る【追加】	R07取組予定	・出前講座により防災情報の入手、活用方法等の周知を図る。 ・広報紙を活用した防災情報発信・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る。	・出前講座や広報誌等を活用した防災知識の普及や防災情報の入手方法等の周知を図る。 ・マイタイムラインのひな形を作成し、住民に対して普及啓発を図る。	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組む。	・出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及・啓発を行う。	・出前講座により防災情報の入手・活用方法等を周知する。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課) ・広報紙を活用した防災情報発信を行う。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課) ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課)		
8 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所等の共同点検等	県管理河川	(参考)前期	出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和3年度まで	前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
	県管理河川	継続	出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和4年度～令和8年度	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・消防署・警察署・消防団等と共同点検を行う。	・出水期前に重要水防区域や危険箇所、水防資機材等について、関係機関と情報共有・共同点検を実施する。	-	-	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検。	
	県管理河川	継続	出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	R06取組状況	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・消防署・警察署・消防団等と共同点検を行った。	・出水期前に重要水防区域や危険箇所、水防資機材等について、関係機関と情報共有・共同点検を実施した。	-	-	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者(島根県)が松江市・消防団等と共同点検を実施した。	
県管理河川	継続	出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	R07取組予定	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・消防署・警察署・消防団等と共同点検を行う。	・出水期前に重要水防区域や危険箇所、水防資機材等について、関係機関と情報共有・共同点検を実施する。	-	-	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者(島根県)が松江市・消防団等と共同点検を実施する。		

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)			目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象		実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
	圏域	(参考)前期	過去の浸水実績等の周知		前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
9 水害・土砂災害危険性の周知促進	圏域	(参考)前期	過去の浸水実績等の周知	令和3年度まで	前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
	圏域	継続	出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知	令和4年度～令和8年度	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性を周知	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知する。	-	-	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性を周知。(島根県河川課)	
				RO6取組状況	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性の周知を行った。	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知した。	-	-	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性を周知した。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課)	
RO7取組予定	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性の周知を行う。	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知する。	-	-	・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害(土砂災害)危険性を周知する。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課)					
■要配慮者利用施設における確実な避難										
10 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援(水害・土砂災害)	圏域	(参考)前期	浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和3年度まで	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	前期実施	
	圏域	継続	新たな浸水想定区域図に基づき、浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和4年度～令和8年度	・対象施設に対し、出前講座の実施や計画策定支援の説明会を実施 ・施設管理者、職員に対しての防災メール登録の推進 ・訓練の企画、実施の支援	・新たな浸水想定区域図に基づき、浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、説明会の開催などによる避難確保計画作成・訓練実施等を支援する。	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施を支援し、防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う(水害・土砂災害)。	・施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有	
				RO6取組状況	・引き続き計画未提出施設に対する策定支援等を行った。	・計画未作成の施設に対して引き続き作成支援を行うとともに、避難訓練を踏まえた計画変更について助言した。	・相談が無かったため、未実施。	・大田市介護サービス事業者協議会からの依頼を受け、10月16日にケアマネージャーを対象に出前講座を実施。 ・2025年2月16日に益田市在住の外国人・外国人の支援者を対象に出前講座を実施。	・説明会の開催及び支援の要請なし。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課)	
RO7取組予定	・引き続き計画未提出施設に対する策定支援等を行う。	・引き続き、計画未作成の施設に対して引き続き作成支援を行うとともに、避難訓練を踏まえた計画変更について助言する。 ・新たな洪水浸水想定区域に伴い指定される対象施設に対し計画作成の支援を行う。	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・引き続き、避難情報の提供、避難計画作成等や避難訓練の支援に協力する。	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。(島根県防災危機管理課・島根県河川課・島根県砂防課)					

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考	
	対象	実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県		
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る										
11 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	(参考)前期	通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和3年度まで	前期実施	前期実施	-	-	前期実施	
	圏域	引継	通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和4年度～令和8年度	・通水を阻害する体積土砂や立木の河川管理者への情報提供を行う。	・市管理河川の計画的な浚渫等を実施する。	-	-	・通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	
				RO6取組状況	・通水を阻害する堆積土砂や立木を計画的に撤去した。 ・河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施した。	・市管理河川の浚渫等を実施した。	-	-	・通水を阻害する堆積土砂や立木を計画的に撤去した。 ・河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施した。	
				RO7取組予定	・通水を阻害する堆積土砂や立木を計画的に撤去する。 ・河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施する。	・市管理河川の浚渫等を実施する。	-	-	・通水を阻害する堆積土砂や立木を計画的に撤去する。 ・河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施する。	
12 排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	(参考)前期	排水施設、排水資機材等の情報共有河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検の実施	令和3年度まで	前期実施	前期実施	前期実施	-	前期実施	
	圏域	継続	水防計画や関係機関との連絡調整会議等により、排水施設や排水資機材等の情報を共有	令和4年度～令和8年度	・排水施設、排水資機材等の情報の共有及び点検を行う。	・水防計画により排水施設、排水資機材等の情報を関係機関で共有する。	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	-	・排水施設、排水資機材等の情報の共有。 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設(市庁舎等)が在する地域において排水計画を作成。	
				RO6取組状況	・松江市水防計画に基づき、排水施設、排水資機材等の情報共有及び点検を行った。	・水防計画により排水施設、排水資機材等の情報を関係機関で共有した。	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行った。	-	・令和6年度島根県水部計画により排水施設、水防資機材等の情報を共有した。	
RO7取組予定	・松江市水防計画に基づき、排水施設、排水資機材等の情報共有及び点検を行う。	・水防計画により排水施設、排水資機材等の情報を関係機関で共有する。	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	-	・令和7年度島根県水部計画により排水施設、水防資機材等の情報を共有する。					

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)		目標時期	各団体の個別方針					備考
	対象	実施状況(方針)		松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
13 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	(参考)前期 浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和3年度まで	前期実施	-	-	-	前期実施	
	圏域	継続 浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和4年度～令和8年度	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報共有 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について情報共有 ・引き続き新庁舎整備を実施する。	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制等を共有する。	-	-	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有。 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について協議会で共有。	
			RO6取組状況	・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、関係部署と情報共有を行った。 ・引き続き新庁舎整備を実施する。	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制等の共有について検討・協議した。	-	-	-	
			RO7取組予定	・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、関係部署と情報共有を行う。 ・引き続き新庁舎整備を実施する。	・引き続き、浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制等の共有について検討・協議する。	-	-	-	

主な取組項目	全体方針(5ヶ年)			目標時期	各団体の個別方針					備考	
	対象	実施状況(方針)			松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県		
■他機関との多角的な連携											
14 他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。	圏域	新規	協議会の内外問わず、他機関と広く連携した取り組みを推進し、相互に認識を共有のうえ地域防災力の向上を図る。	令和3年度まで	-	-	-	-	-		
				令和4年度～令和8年度	-	-	-	-	-	・各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、平常時からきめ細かく支援する。 ・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に開催する。 ・地方公共団体における防災担当職員等養成の一環として、依頼に基づく助言・講演や各種ワークショップを開催する。	-
				RO6取組状況	-	-	-	-	・(令和6年6月26日～7月30日) 島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(水害対策編)」を、web会議により計5回開催し、地域防災力の向上を支援した。 ・島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説。また、早期注意情報で[中]又は[高]が発表された際は、随時に配信した。 ・Web会議ツールで「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催(報道機関に、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化) ・島根県CATV協議会と定期的(年4回)に番組制作を実施。	-	
RO7取組予定	-	-	-	-	・地方公共団体における防災担当者職員等養成の一環として、依頼に基づく助言・講演や各種ワークショップを開催する。 ・Web等を活用し平時から決め細かい防災支援を行う。 ・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に開催する。	-					